



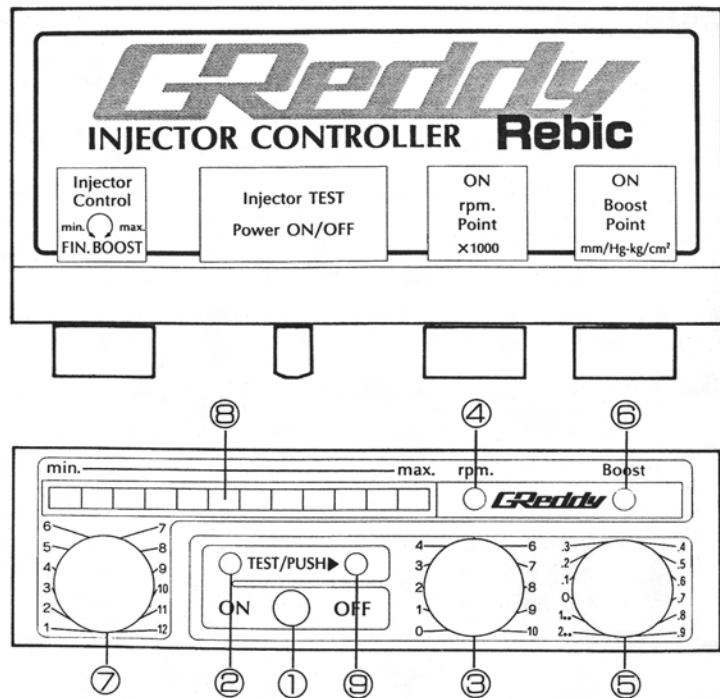
Rebicは、ターボチューンにより生ずる燃料の不足を補う燃料増量コントロールシステムです。

エンジン回転(0~10,000rpm)と負、正圧(-200mm/Hg~0.9kg/cm²)の両方が設定値に達すると、インジェクターは作動状態になります。したがって、従来の様に過給圧のみの設定方法に加え、任意の回転数からインジェクターを作動させる事ができますのでエンジブレーキや低負荷状態で、しかも回転数が高く過給圧が低い場合、また、過給圧が高くて回転数が設定値に届かない場合などには、インジェクターを作動しない様に調整する事も可能です。たとえばアップダウンの続くワインディングロードなどでも、エンジンが燃料増量を要求している時だけ(加速時のアクセルオン)作動し、シフトダウンによるエンジブレーキ(高回転)時では増量は行なわれません。燃料の増量は、作動開始時(最少量)からファイナルブースト(FIN. BOOST=最大過給圧)時までの噴射量を約 $\frac{1}{3}$ から全開まで任意に設定できますので、常にエンジンが求めている適量範囲内の燃料増量が可能です。

パーツリスト

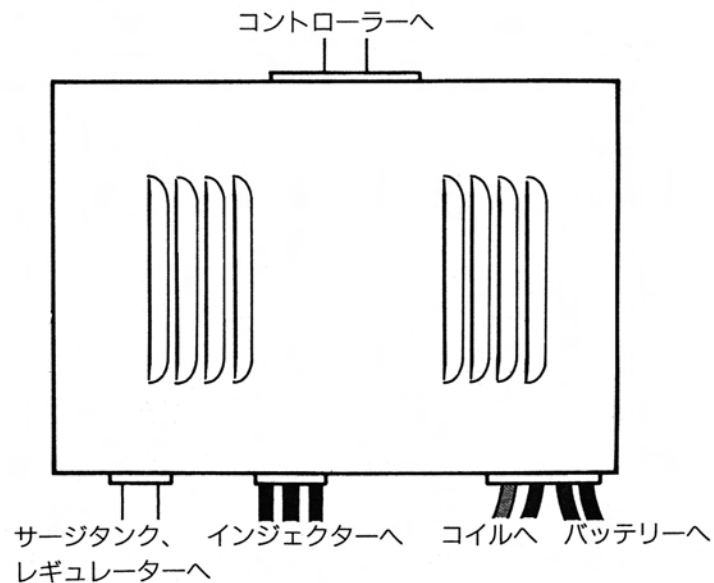
1. Rebicコントローラー(室内取付ユニット)	1コ	7. スリーウェイジョイント	1コ
2. Rebicメインアンブ(室内取付ユニット)	1コ	8. 本体取付金具	1コ
3. インジェクター用ハーネス(2.0m)	1本	9. メインアンブ取付金具	2コ
4. Rebic本体ハーネス(2.0m)	1本	10. メインアンブ取付金具(ネジ)	6本
5. 電源用ハーネス(2.0m)	1本	11. 取扱説明書	1枚
6. 圧力センサー用ホース(1.8m)	1本	12. 保証書	1枚

Rebic コントローラー各部名称

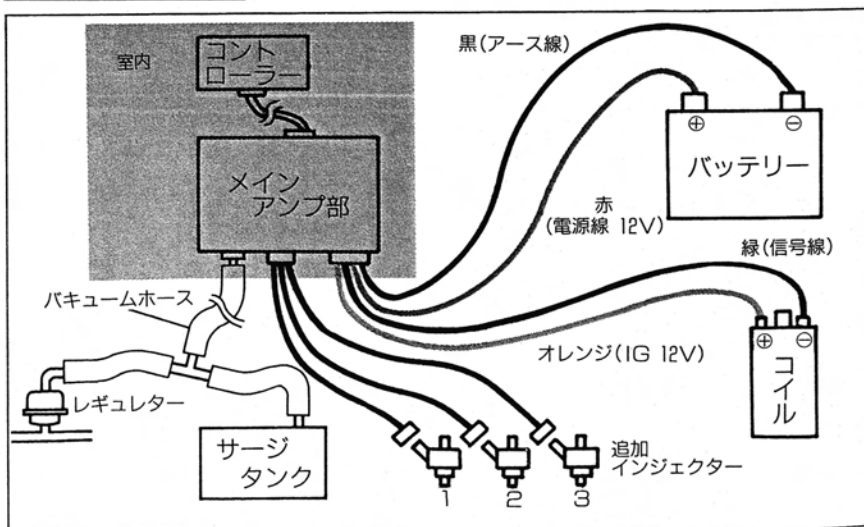


- ① POWER ON、OFFスイッチ
(手前に引きながら倒して下さい。)
- ② POWER ON LED
- ③ rpm. セットダイヤル
インジェクター作動開始回転数を合わせます。(4.6気筒0~10,000rpm.)
- ④ rpm. LED
回転数が設定値に達すると点灯します。
- ⑤ BOOST セットダイヤル
インジェクター作動開始の圧力を合わせます。(-200mm/Hg~+0.9kg/cm²)
- ⑥ BOOST LED
過給圧が設定値に達すると点灯します。
- ⑦ INJECTOR セットダイヤル
最大過給圧時(FIN. BOOST) の必要噴射量を設定します。(0.4~2.6kg/cm²)
- ⑧ インジェクター噴射量 LED
- ⑨ テストスイッチ
(インジェクター作動点検スイッチ)

Rebic メインアンプ



取付基本配線図



3

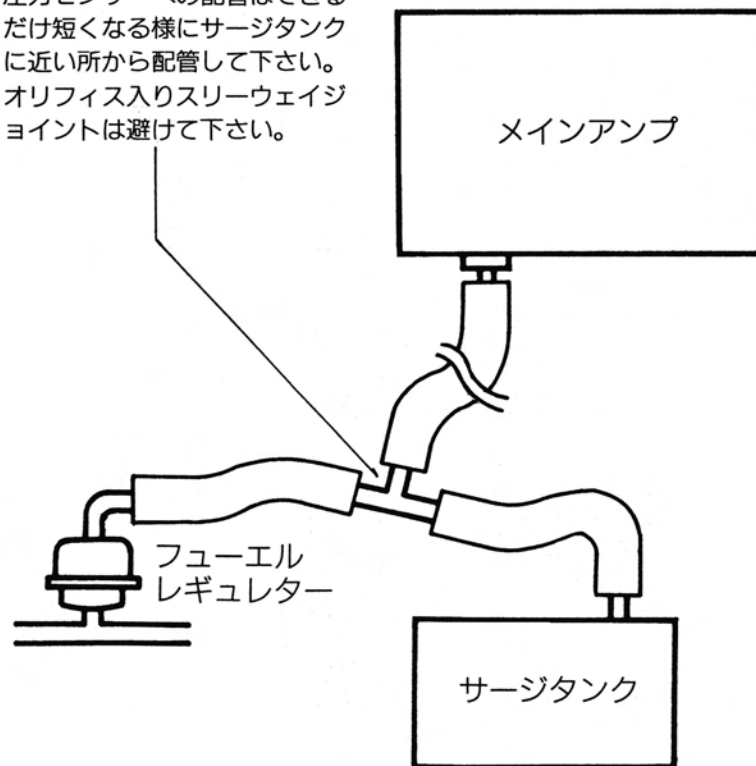
アンプの取付方法

メインアンプには圧力センサー、IC、レジスターが内蔵されているため、直射日光のあたる場所、熱風のあたる所、水のかかる場所への設置はさけて下さい。

温度上昇による本体のクレームは、保証対象外となります。

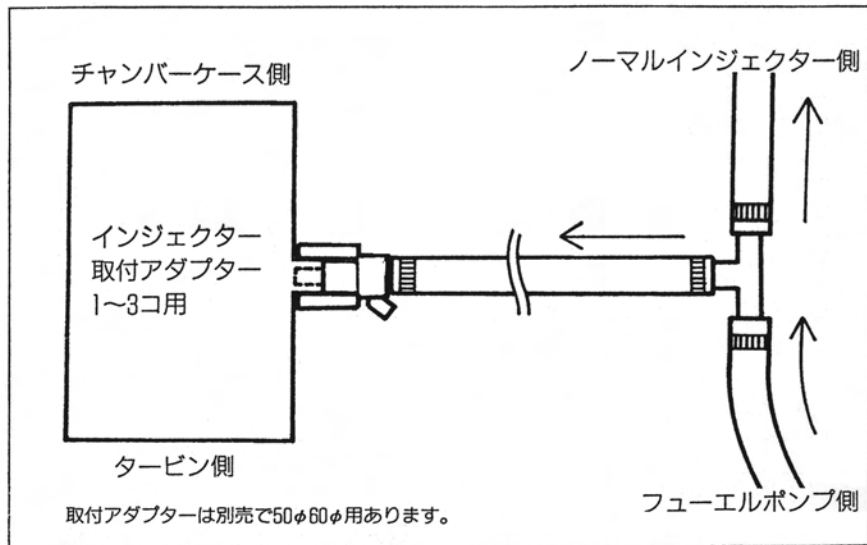
■パッキュームホース口は下向きに取付け、ヨジレやツブレのないように配管して下さい。

圧力センサーへの配管はできるだけ短くなる様にサージタンクに近い所から配管して下さい。オリフィス入りスリーウェイジョイントは避けて下さい。



4

追加インジェクターの配線



追加インジェクターは3本まで取付できます。

追加インジェクター1本取付の場合はNo.1、2本取付の場合はNo.1,2、3本取付の場合はNo.1,2,3。

■インジェクターは2～3Ω低抗の物をご使用下さい。

追加インジェクターの取付注意事項

1. 燃圧はBOOST圧に対して2.55kg/cm²を一定に保つようにして下さい。
Ⓜ燃圧が下がる場合は、燃料ポンプを別に取付けて下さい。
2. 燃料ホースをインジェクターに取付ける場合は、耐圧、耐油性のホース(エアロクリップホースなど)を使用して下さい。(ホースは別売で有ります)
3. 追加インジェクターの取付け場所は、サージタンクの近くに取付けて下さい。
■取付け終了後、確実に取付けられたことを再度確認して下さい。

5

4. 追加インジェクターを取付けた場合は、燃料の容量をよく考えて、燃料が足りない場合は、容量の大きいポンプに交換するか追加して下さい。インジェクター取付アダプター50φ60φ用別売で有ります。

●インジェクターの設定はメーカー及び販売店に御相談下さい。

取付終了後のチェックポイント

1. 燃料の漏れ、燃圧の不足。
2. 配線の接続不良。
3. 作動開始のポイントはBOOSTセットを重視して回転セットは低めにセットして下さい。
4. FIN BOOSTセットはダイヤル12方向濃い方から薄い方へ調整して下さい。
5. 燃料のセッティングは、排気温度計などを使用して下さい。

インジェクターとアンプの点検方法

チェックボタンによるインジェクターの点検

エンジンを3,000～4,000rpm以上にして、チェックボタンを1秒前後押し、インジェクターが全噴射になり回転が下がります。エンジンが止まるまでは押さないで下さい。止まりそうになれば、作動は正常です。

本体の点検

インジェクターの作動表示を確認して下さい。LEDが点灯後、消えない場合は本体またはインジェクターの配線等をよく点検して下さい。

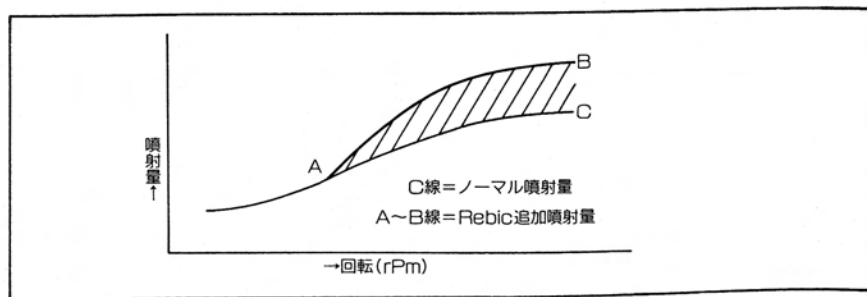
Ⓜこの場合、POWER SWをON・OFF後、再確認して下さい。

6

調整方法

- ①rpmセットダイヤルにて作動開始の回転数を設定して下さい。
(調整巾0~10,000rpm)
- ②BOOSTセットダイヤルにて作動開始(負、正圧)を設定して下さい。
(調整巾-200mm/Hg~+0.9kg/cm²)
- ③①、②のセットは回転は低めにセットし、BOOSTセットを重視した方が調整しやすくなります。
- ③INJECTORセットダイヤルにて最大過給圧時(FIN.BOOST)の必要噴射量を設定して下さい。BOOSTが最大の時、インジェクター噴射量を $\frac{1}{3}$ から全噴射まで調整できます。(0.4~2.6kg/cm²)
- ④作動開始ポイント(A点)は、回転設定と圧力設定の双方がONになった時、初めて最小量からスタートします。
- ⑤作動開始ポイント(A点)を設定後、FIN. BOOST(B点)を設定しますが、調整ダイヤルは最大方向(ダイヤル目盛り右<12>)から減少方向(左)へ向って調整して下さい。

セット例グラフ



調整の一例

テスト車=2,500rpmからBOOSTが上がり始め、4,000rpmでフルBOOST 0.4kg/cm²になる車の場合

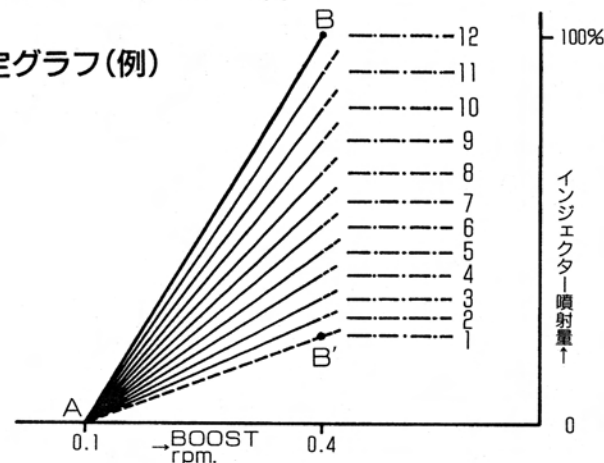
7

●Aポイントの設定

■BOOSTダイヤル=0.1 ■rpm.ダイヤル=2,000
BOOSTが0.1以上になっているのに、2,000rpm以下の場合、また、回転が2,000rpm以上になってもBOOSTが0.1以下の場合には、インジェクターはONになりません。

■両方の作動確認LEDの点灯で、インジェクターが作動状態に入ったことを知ることができます。

噴射量設定グラフ(例)



●Bポイントの設定

INJECTORセットダイヤル=12(MAX.)の場合

②——線の様に0.4で全噴射となります。

INJECTORセットダイヤル=1(MIN.)の場合

②……線の様に0.4で約 $\frac{1}{3}$ の噴射量になります。

■②~②の範囲内をINJECTORセットダイヤルで任意に調整できます。

■T.V.V.C.やアクチュエーターで最大過給圧をセットし、その過給圧が異常に上昇した場合でも燃料は噴射されますがそのままでの走行はエンジンに悪影響を与えます。正常な過給圧に整備、調整して下さい。

御不明な点がございましたら、販売店または代理店まで御相談下さい。

8